

科目区分	専門基礎分野	科目名	形態と機能Ⅲ (消化器、内分泌)	対象学生	第1学年
		単位数 (時間数)	1単位 (30H)	学 期	第1学期
担当講師	医師				
科目目標	1. 消化器系の構造と機能を理解する。 2. 内分泌系の構造と機能を理解する。				
<b>授業概要</b>					
第1～7回 2章	<b>口腔の機能と構造:15H</b> (口腔の運動と感覚、咀嚼機能 他) <b>咽頭・食道の機能と構造 (嚥下機能、食道の蠕動運動 他)</b> <b>腹部消化管の構造と機能</b> 1) 胃の構造と機能 2) 小腸(十二指腸、空腸、回腸)の構造と機能 3) 大腸(結腸、虫垂、直腸、肛門)の機能と構造(排便反射 他) <b>膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能</b> <b>腹膜</b>		担当: 医師		(講義)
第8～14回 6章	<b>自律神経による調節:15H</b> 1) 自律神経の機能と構造 2) 自律神経の神経伝達物質と受容体 <b>内分泌系による調節</b> 1) ホルモンとは 2) ホルモンの化学構造と作用機序 3) 内分泌器官の構造とホルモンの機能(視床下部、下垂体、甲状腺、 上皮小体、膵島、副腎皮質、副腎髄質、性腺ホルモン、消化管ホルモン 腎臓のホルモン、松果体(サーカディアンリズム)) 4) ホルモン分泌の調節の実際 (調整ホルモン・拮抗ホルモン、フィードバック機構)		担当: 医師		(講義)
第15回	<b>まとめ・終了試験</b>				
<b>看護師国家試験出題基準</b>					
咀嚼・嚥下(歯・口腔・唾液腺の構造と機能、咽頭・喉頭の構造と機能、食道の構造と機能、咀嚼、嚥下) 消化と吸収(胃の構造と機能、十二指腸の構造と機能、空腸・回腸の構造と機能、結腸・虫垂の構造と機能、 直腸・肛門の構造と機能、肝臓・胆道の構造と機能、膵臓の構造と機能、消化管運動と反射、消化管ホルモン) ホルモンの種類(ホルモンの科学的性質、ホルモン受容体)、ホルモンの分泌調節(調節ホルモン、拮抗ホルモン フィードバック機構)、内分泌器官の構造とホルモンの機能(視床下部、下垂体、松果体、甲状腺、副甲状腺、膵島 副腎皮質、副腎髄質、腎臓、性腺)					
<b>授業の進め方</b>					
模型や視聴覚教材を使用し各称や働きを確認する。					
<b>履修のポイント・留意事項</b>					
<b>テキスト</b>					
系統看護学講座 解剖生理学 医学書院 目でみるからだのメカニズム 医学書院 系統看護学講座 準拠 解剖生理学ワークブック 医学書院					
<b>評価方法・配点</b>					
授業への取り組み状況、終了試験にて総合的に評価する。					